

武者小路ハム共

むしやうのこうきょう
きんぎょ

隨筆家。

明治十五年八月二十七日東京生れ、

昭和二十七年四月二十一日歿（八二—九六）。外交官。明治四十年東

京帝國大學法科大學獨法科卒。上海領事、スウェーデン・トルコ等の

駐在大使を経、昭和九年ドイツ駐在特命全權大使となり日獨防共協

定締結に當る。歸國後宮内省宗秩寮總裁。戦後は日獨協會會長。武者

小路實篤の兄。

著書『天皇の印象』（合著、昭和二十四年十一月二十日創元社）、『道

草十万里』（昭和二十六年一月二十五日日本評論社）、『日本の歩み

五十年』（合著、昭和二十六年十一月二十日早川書房）、『冷戦と吾

席』（昭和二十八年五月十日大日本雄辯會講談社）、『某月某日』（合

著、海口茂穂編、昭和二十一年四月二十五日日本経済新聞社）等。

